

# 日體人

Vol.7  
NITTAI-JIN  
2018 Autumn

日體人  
NITTAI-JIN  
2018 Autumn  
Vol.7

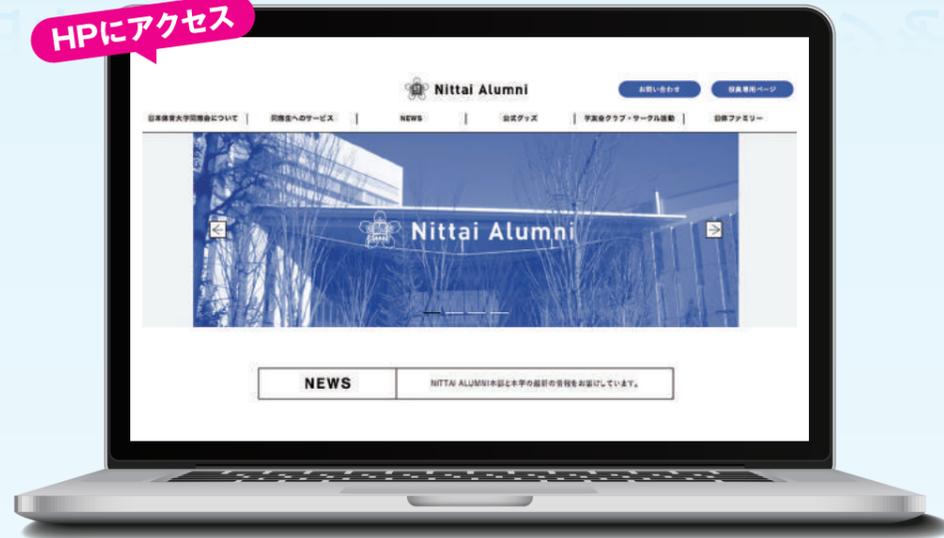
日本体育大学同窓会誌【日體人】VOL.7 2018年10月15日発行 発行/日本体育大学同窓会  
編集/広報委員会 TEL:03-3704-0266 FAX:03-3704-1817 URL:https://www.nittai-club.com/

制作協力/株式会社イアックス



## 日本体育大学同窓会ホームページを リニューアルしました!

HPにアクセス



日本体育大学同窓会    
<https://www.nittai-club.com/>

### 多数のコンテンツをご用意

#### NITTAI ALUMNI

様々な業界で活躍する  
日体同窓生をご紹介します。

#### Nittai TenpoNavi

同窓生が頑張る  
店舗・小売店・飲食店などの  
情報をご紹介します。

#### NITTAI-JIN

日本体育大学同窓会誌  
「日體人」をご覧ください。

### ホームページより登録会員情報の更新が可能

#### 【登録会員情報変更の方法】

- 1 同窓会HP右上の **お問い合わせ** をクリック
- 2 「住所変更届け」「新規会員登録」「ご連絡の停止」「お問合せ」  
いずれかを選択し、情報を送信してください。  
※会誌がお手元に届かない方は、「新規会員登録」へ

お問い合わせページへの  
直接アクセスはこちら 



日本体育大学同窓会

「黎明:第II期」活性化ビジョン……2  
団結和協 日體女子!!……4  
つながろう! 深めよう! 我ら、日體人……5

日本体育大学

この10年間の入試の歩み……6  
保健医療学部救急医療学科……8

設置校とともに広がり続ける日體精神……10

# 同窓会の取り組み・活性化ビジョンについて

日本体育大学同窓会 幹事長  
塩谷 和雄

日本体育大学同窓会は、平成26・27・28年度の三カ年を「黎明」期と名付け、急激に変化する内外環境に適応できるよう取り組んでまいりました。初年度は「同窓会運営の基本方針」を定め、これに基づいて「活性化推進基本計画」を策定。その後「成功事例に学ぶマーケティング講座」や「女子活性化研究会」を通じて、現状分析を進めながら課題解決策を模索してきました。

さらに、都道府県支部の活性化に向けて、かつての事務局長会議を発展的にリニューアルさせた「同窓会マネジメント研究会」を開催。本部役員と支部の実務者が研鑽と親睦を図り、互いの成長の場となりました。

ご案内のとおり、母校日本体育大学は、体育学部、児童スポーツ教育学部、保健医療学部、スポーツ文化学部、スポーツマネジメント学部の5学部体制へと進化し続けており、学生の進路および職業多様性への対応は我が同窓会にとって喫緊の課題となっています。

また、入学者の首都圏集中と地方出身学生の減少は都道府県支部の運営に様々な影響を及ぼしていることから、会員相互の英知結集と新たな団結和協のネットワークづくりが求められます。

一方、本部・支部組織においては、情報化やグローバ

ル化に適応したコミュニケーション・スキルの向上など、スピード感のある運営と活動が不可欠となっております。

こうしたなかで、今期「黎明」セカンドステージがスタートしています。初年度の平成29年度は本部組織を大幅に見直すとともに、長年の懸案であった同窓会ホームページを「日體アラムナイ Nittai Alumni」の呼称のもと、全面リニューアルを図ることができました。

また、平成30年度は地方実演会（東北：青森・秋田県開催）のタイミングに合わせ、「全国女性代表者会議in青森2018」と銘打った記念総会を弘前市で開催することになりました。「男性中心・教員主体」「同じ顔ぶれ・高齢化」の傾向から脱皮するためにも「日体大女子同窓生」による団結和協が大いに期待されます。

さらに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会も2年後へと迫り、大学や学生・卒業生にとってビッグチャンスが到来しています。

同窓会としてもこの強い追い風を受け、有効な活性化策を講じるとともに、母校への寄与は勿論のこと、日体ファミリーの一員としての使命を果たしていきたいと考えています。

## 今期の主要事業

年度	取り組み・事業構想等	* 赤枠は今年度
2017[H29]	<ul style="list-style-type: none"> <li>都道府県支部の運営・事業等に関する基本調査・研究</li> <li>東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業の意向調査</li> <li>広報戦略の見直し・改善（ホームページ、SNS、会誌「日體人」等）</li> <li>中長期ビジョンの検討（準会員・正会員支援策、支部事業等）</li> </ul>	
2018[H30]	<ul style="list-style-type: none"> <li>県人会活性化モデル事業への助成</li> <li>「全国女性代表者会議in青森2018」の開催（4ページに掲載） ・H27「女子活性化研究会」の成果を踏まえた発展的拡充 ・体育研究発表実演会・青森大会の前日より開催：11.30（金）・12.1（土）弘前市</li> <li>可視化による広報活動の推進（チラシ、ロゴ・キャラクター等）</li> <li>東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業の検討・実施</li> </ul>	
2019[H31]	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京2020前年イベント等の発信…ホームページ、SNS等</li> <li>仮称「NAツーリズム*in東京2019」…全国同窓企業人総会・交流親睦会（予定）</li> </ul>	

【注釈】\*NA：Nippon Sport Science University Alumni Association [日本体育大学同窓会]の略称。別称「日體アラムナイ」。  
\*ツーリズム(tourism)：レジャー、ビジネス、その他の目的で日常の生活圏の外に旅行したり滞在して楽しむ文化的営み。「聖地巡礼」や学生時代の生活圏に「戻る」という意味も含まれる。  
後輩たちが行う集団演技やエッサッサなどの実演にふれたり、懐かしい母校・旧居住地域などを訪れて交流を深める全国イベントとして企画。



参考

## 同窓会運営の基本方針（平成29年6月4日代議員会承認）

- 平成26年7月26日第3回役員会決議「同窓会運営の基本方針」を継承し、今期（平成29・30・31年度）三カ年を「黎明：第II期」とする。
- 「質実剛健」「団結和協」の精神のもと、たゆみない前進を誓い合い、ゆるぎない連帯を築くために全力を注ぐ。
- 日体ファミリーの一員として、積極的・主体的にリーダーシップを発揮するとともに、保護者会との連携を深める。
- 次代を担う後進のために、我々は自ら進んで実践・垂範し、日本はもとより世界の舞台上で活躍できる有為な人材の輩出に努める。
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運を生かし、大いなる母校の発展に貢献する。

## 同窓会の経営戦略目的（日本体育大学同窓会会則 第3条 参照）

- 親睦 …… 会員相互の交流促進、ネットワーク拡大（ブランド価値の共有と創造）
- 研鑽 …… ライフステージに応じた会員サポートの充実（会員相互の生涯にわたる成長）
- 寄与 …… 多様化に対応した組織活動と母校への貢献（適応スキル・組織力の強化）

## 日體アラムナイ Nittai Alumni

日本体育大学同窓会の英語表記 Nippon Sport Science University Alumni Association の日本語略称

## ロードマップ

項目	年	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
国際イベント				リオ お・パ・ラ	平昌 冬季	W杯 サッカー	W杯 ラグビー	東京 お・パ・ラ	関西 W杯サッカー	北京 冬季
周年		123	124	125	126	127	128	129	130	131
日体フェスティバル		世田谷	健志台	世田谷	健志台	世田谷				
体育研究発表実演会		茨/栃/群	東京	阪/和	東京	青森/秋田				
活性化推進基本計画										
プロジェクト黎明										
マーケティング講座										
女子活性化研究会										
ネオ県人会										
水墨画X和楽器ライブ										
マネジメント研究会										
セカンドステージへ										
東京2020関連事業の企画・実施										
優れた体育・スポーツ人材の輩出										
企業人ネットワークの創生										
男女共同参画・女性ネットワーク拡大										
ライフステージに応じた会員サービス										
都道府県（支部）活動の充実										
組織課題										
1 経営管理										
2 広報戦略										
3 調査研究										
4 キャリア支援										
5 ネットワーク										
体育学部		62期	63期	64期	65期	66期	67期	68期	69期	70期
児童スポーツ教育学部		2年	3年	4年	1期	2期	3期	4期	5期	6期
保健医療学部		1年	2年	3年	4年	1期	2期	3期	4期	5期
スポーツ文化学部		—	—	—	1年	2年	3年	4年	1期	2期
スポーツマネジメント学部		—	—	—	—	1年	2年	3年	4年	1期

学部新設…学生のキャリア多様性 → 会員の職業多様性 → ライフステージ・領域に応じた会員サービス

# 団結和協 日體女子!!

～日本体育大学同窓会「全国女性代表者会議 in 青森2018」が開催されます～

近年、都道府県支部の総会出席者や事業への参画状況を見ると、総合的に「同じ顔ぶれ・高齢化」の傾向が見られ、運営においても「男性中心・教員主体」の現状が見られることから、平成29年度より、本部組織に「女性参加促進部門」を新設し、女性が参加しやすい環境づくり、老若男女会員が互いに協力して活動できる「団結和協」の仕組みづくりに取り組んでいるところです。

こうした経緯・背景を踏まえ、平成27年度に実施した「女子活性化研究会」を発展的に拡大し、全国支部の女

性代表者が一堂に会して、同窓会の現状認識と今後あるべき姿を共有することにより、女性の参加促進、男女共同参画による活動の充実を図りたいと考え、開催することになりました。

各支部および出席者・招待者の皆様にはすでにご案内させていただきましたが、誌面をいただきご紹介させていただきます。また、開催概要はホームページ等を活用して発信させていただきます。

## 「全国女性代表者会議 in 青森 2018」の開催概要

### 【愛称】 団結和協 日體女子!!

目的：全国に広がる日体大女子同窓生が結束し、女性ならではの観点でスポーツ文化を盛り上げ、日体大・地域・社会への貢献を果たす。

主催：日本体育大学同窓会(女性参加促進部門)

協力：日本体育大学青森県同窓会

期日：2018年[平成30年]11月30日(金)・12月1日(土)

場所：「アートホテル弘前シティ」青森県弘前市大町1-1-2 TEL:0172-37-0700

出席者：全国都道府県支部同窓会 女性参加促進推進者、来賓等



### 【11月30日(金)】第1部:全体会

時間	全体会	登壇者
15:00	開会挨拶 歓迎の言葉	日本体育大学同窓会 会長 瀧澤 康二 日本体育大学青森県同窓会 会長 春藤 英徳
15:15	記念講演	学校法人日本体育大学 理事長 松浪 健四郎 仮題「団結和協 日體女子に期待する!」
16:45	宣言文案の検討	翌日決議・採択する「Nittai Alumniさくら宣言」 別称「青森宣言」文案の提示・検討
17:30	閉会	
18:00~20:00	第2部:交流親睦会	

### 【12月1日(土)】第3部:記念総会

### Nittai Alumniさくら宣言(別称「青森宣言」)の決議・採択

時間	次第	内容
10:00	議長選任・挨拶	
10:15	宣言文案について	提案・質疑応答
10:45	決議・採択	宣言1(案) 私たちは、歴史と伝統ある日体大同窓生の強みを活かし、体育・スポーツ文化の発展と地域・社会貢献に尽力いたします。 宣言2(案) 私たちは、日体大同窓生であることに誇りを持ち、世代を超えた同窓ネットワークの活性化を図り、母校・後輩との絆を深めます。 宣言3(案) 私たちは、日体大女子同窓生の活躍の場の増加と促進を図り、団結和協のもと男女共同参画を目指します。
	記念写真撮影	ホームページ・SNS発信用
12:00	閉会	

\*午後、青森県武道館で行われる体育研究発表実演会への参加は任意。

# つながろう! 深めよう!

## 我ら、日體人 Nittai Alumni

昭和から平成にかけて、同窓会への入会制度が変遷してきた経緯、母校への愛着・帰属意識が過去と比べ、大きく変化していることなどを背景に、「自分が同窓生なのかどうか」、「(親が)入会金を納入したかどうか」、「自分は出身地・勤務地のどちらに所属したらいいか」がわからない...という卒業生が多数存在している現状があります。

また、「部活の絆」や「同じ釜の飯を食った仲間」「タテ・ヨコ」のつながりが強固だった古き強き時代の同窓会員は「高齢化」の一途をたどり、卒業生の進路先や職業も、「体育学部出身の教員中心」だった時代と大きく異なり、多様化の様相を呈しています。

こうした現状や課題を踏まえ、会費等のことで複雑になっていた過去を取り払い、「卒業生すべてが同窓会員」

として登録可能な仕組みづくりに着手しています。そのひとつが下の「チラシ」の作成・配布です。本ページの見出し「つながろう!(以下省略)」はこのチラシ表面のタイトルで、「ネットにつながる」「地域につながる」「イベントにつながる」の3部構成になっています。裏面は、自分の希望する支部に登録して、「日體人」として絆が深められるよう、「学び舎を共にした仲間は皆、同窓会員です!すべての日体大卒業生!HPに今すぐ集まれ!」と題した紙面になっています。

同窓会への所属による利便性を「人脈」「サービス」「情報」で表現するとともに、ホームページを媒体とした同窓会への登録・確認のフローが記載されています。

今後、様々な機会に活用していきたいと思っております。





# この10年間の入試の歩みと取り組み

本学は建学の精神である「體育富強之基」のもと、「身体に纏わる文化と科学の総合大学」として現在5学部体制となり、各学部が掲げる3つのポリシー（ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシー）に基づいて、スポーツを「する」、「見る」、「支える」人材を多方面から育成できる体制を取って参りました。

この様ななかで、この10年間で本学の入試も様々な取り組みをして参りました。（表1）

平成24年度入試以降、学力重視の入学試験（筆記試験のみ：一般入試B方式、推薦入試：一般推薦）を導入して、より学力の高い学生の獲得を進めてきております。また、本学の社会的認知をより広げることを受験生の出願増加につながるものと考え、平成25年度からは主要な大学の大半が導入している「大学入試シリーズ：赤本」を刊行しております。

昨今は18歳人口が減少し、私立大学の約4割が定員割れをおこなっていることが報じておりますが、本学では現理事会体制下で学部新設、体育学部定員増などを図り、有難いことに年々志願者数が増加しております。平成30年度入試では、全学で1770名の入学定員に対して7738名の志願者がありました。（図1）

## 《平成31年度入試での取り組み》

平成31年度の入試区分と試験実施日を表2に示しました。様々な入試を用意しておりますが、主な取り組みは下記の通りです。

## 1 全体の志願者の増加に向けて

### ●学生募集活動の裾野拡大

大学全体の広報活動への参加および全国の同窓会支部総会において近年の本学入試制度について説明し、志願者の裾野拡大への協力を要請させていただきました。

### ●一般入試での併願パターンを拡大

前期（2月1日～4日）では、従来の日程別の併願に加え、2月1日の全学統一日程で同日5学部併願を可能としております。また後期（3月1日、2日）では、日程別の併願を可能としました。

### ●全学部大学入試センター試験への新規参画

平成30年度から体育学部、児童スポーツ教育学部で新規参画しましたが、平成31年度入試から5学部すべて参画します。これにより新たな受験者層の志願が見込めること、学力の高い学生、個性豊かな学生の確保を期待しております。

表1 入試10年間の変遷

年度	おもな入試の変遷	学部新設の変遷
平成20年度	●世田谷再開発により横浜健志台キャンパスで入試を実施 ●スポーツAO入試、武道学科AO入試（伝統芸能コース）導入	
平成21年度	●武道学科AO入試（武道教育コース）導入	
平成22年度	●全学で学科AO入試開始 ●スポーツAO入試からトップアスリートAO入試に名称変更 ●地域ブロックAO入試、併設校AO入試、リカレント入試導入 ●一般入試でB方式（3月入試）「筆記+実技型」に加え、「筆記のみ」を導入 ●体育学部でリカレント入試を導入	
平成24年度	●推薦入試（一般推薦）を導入 ●児童スポーツ教育学部の認可にもなった入試を実施 ●体育学部で外国人留学生入試を導入 ●赤本の販売を実施	
平成25年度	●保健医療学部の認可に伴った入試を実施 ●入学検定料をコンビニエンスストアで振り込めるようになる。 ●保健医療学部一般入試前期でサテライト会場（名古屋、大阪、福岡）を実施 ●体育学部で飛び入学入試を導入	短大を改組し、児童スポーツ教育学部を新設
平成26年度	●一般入試で全学統一日程、学部個別日程の導入 ●学科AO入試および一般入試前期（全学統一日程）でサテライト会場（札幌、仙台、名古屋、大阪、福岡）を実施	保健医療学部を新設
平成27年度	●サテライト会場に高崎会場を追加 ●スポーツ文化学部の認可に伴った入試を実施	
平成28年度	●体育学部、児童スポーツ教育学部でIB資格入試と英語外部資格入試を導入 ●スポーツマネジメント学部の認可に伴った入試を実施	武道学科を改組し、スポーツ文化学部を新設
平成29年度	●体育学部、児童スポーツ教育学部でセンター試験利用入試を導入 ●一般入試においてweb出願を導入	社会体育学科を改組し、スポーツマネジメント学部を新設



一般入試の過去2年間分の問題については「赤本」(教学社)に掲載しています。  
全国の書店や教学社のホームページにて購入可能です。  
URL <http://akahon.net/>

## 2 より多くの優れたトップアスリート確保に向けて

体育学部、スポーツ文化学部、スポーツマネジメント学部でトップアスリート AO 入試を行い「スポーツ推薦」については全学部で出願可能とし、さらに多くのトップアスリートの確保に努めております。

## 3 学力の高い学生、個性豊かな学生の確保に向けて

- 全国指定校の入れ替え及び訪問  
全国指定校は、各地の偏差値上位校へ入れ替えを継続。新規高校へは直接訪問させていただき、進路指導担当の先生へ現在の本学の状況と入試制度を説明し、学力の高い志願者の推薦を要請しました。
- 個性豊かな学生を誘うための入試制度を継続  
飛び入学入試、帰国生入試、国際バカロレア (IB) 資格入試、英語外部資格入試および外国人留学生入試を設けてグローバルな視野をもつ志願者確保に努めております。

## 4 一般入試サテライト会場日程の延長

一般入試前期で実施するサテライト会場（札幌、仙台、高崎、名古屋、大阪、福岡）日程を、3日間に延長しました。これにより、各地域からの志願者がさらに受験しやすくなると考えます。お近くに本学受験を希望される方がいらっしゃれば、お声がけいただければ幸いです。



表2 平成31年度入試区分と試験実施日

入試方式/概要	試験実施日	対象学部	備考	
AO入試	学科AO	9月2日	全学部	
	併設校AO	11月25日	全学部	
	トップアスリートAO	I期 9月1日 II期 12月16日 III期 3月1日	体育 スポーツ文化 スポーツマネジメント	試験日は2次試験日
推薦入試	一般推薦	12月16日	体育 スポーツ文化 スポーツマネジメント 保健医療	試験日は2次試験日
	指定校推薦	11月25日	児童スポーツ教育 保健医療	試験日は2次試験日
	スポーツ推薦	11月25日	全学部	試験日は2次試験日
一般入試 前期	全学統一日程	2月1日	全学部	5学部併願可
	学部個別A日程	2月2日	全学部	
	学部個別B日程	2月3日	全学部	筆記型
	学部個別B日程	2月3・4日	体育(体育学科のみ) スポーツマネジメント	筆記+実技型
一般入試 後期	A日程	3月1日	全学部	
	B日程	3月2日	全学部	
センター試験利用入試	前期	大学入試センター試験	全学部	合格発表：2月9日
	後期	1月19・20日	全学部	合格発表：3月6日
特別入試	帰国生	11月25日	全学部	
	外国人留学生	3月1日	体育 スポーツ文化 スポーツマネジメント	試験日は2次試験日
	リカレント	3月1日	全学部	
	飛び入学	3月1日	体育	
	国際バカロレア(IB)資格	11月25日	児童スポーツ教育 保健医療	
	英語外部資格	12月16日	全学部	

詳細については本学ホームページおよび「入試ガイド2019」をご参照下さい。

●入学試験に関するお問い合わせ先  
日本体育大学アドミッションセンター Tel: 045-963-7955 Fax: 045-963-7956





1. 米国シアトル研修でドクターヘリを見学 2. シアトルの消防署で Paramedic とともに 3. シミュレーション実習を行う救急医療学科の学生たち

保健医療学部 救急医療学科では  
切迫した危機的状況下で  
人命に関わる重責を担える  
総合的な実践力をもった  
救急救命士を育成しています。  
①知識技術の習得  
②災害現場でのリーダーシップ育成  
③国際的に活動できる技能の育成  
などを行っています。



## ① シアトル救急車同乗研修

世界最高峰の救急医療体制を誇る米国シアトルで、毎年救急車同乗実習を行っています。今年は、3月12日～3月26日の15日間で、1・2年生16名が研修に参加しました。救急車同乗やトレーニングの視察だけでなく、日本の救急医療体制について意見交換するなど、双方向性に重点を置いた研修で、毎年学生・教員共に挑戦し続けています。

### ★研修の内容

- 日本国内で救急車に同乗、指令センターを見学
- 米国シアトル研修にて救急車同乗実習、医療英語トレーニング、教育施設視察、ディスパッチセンター訪問、BLS講習受講 等

### ★救急車同乗実習

交通外傷や呼吸不全など様々な傷病者対応を経験しました。世界一の蘇生率を誇るシアトルにおいて、心停止傷病者の現場に出動し、心拍再開の現場に立ち会った学生もいました。

出動待機中は、実際に使われる薬剤の説明や、静脈路確保、ドップラーによる血圧測定、さらに電動ストレッチャーも実際に体験しました。どの消防署のParamedicも嫌な顔ひとつせず、丁寧かつ分かりやすく説明してくれました。また、「Hands-On」といい、多くのことを体験する機会をいただきました。毎日全員でカンファレンスをする中で、経験を共有しお互いが成長できる機会を設けました。すべての学生がParamedicの誇りを持ち、常に学ぶ姿勢であることに感動しました。



### ★学生の挑戦

全く英語が話せない学生が、トレーニングの結果として、英語で本学や日本の救急医療体制についてプレゼンテーションをしました。メモを見ずに、身振り手振りを加え、また少し笑いの要素をいれたプレゼンテーションは、Paramedicの方からも素晴らしいとコメントをいただきました。

研修に参加した学生は帰国後、熱心に勉学に励み、人間力が向上しました。このような機会を多く作ることで、将来幅広い視野をもった人間力のある救急救命士を育てることに挑戦していきます。

## ② シミュレーション実習について

救急医療学科では、2年次からシミュレーション実習を展開しています。本年度は、1年次から医療人としての基礎倫理、ファーストレスポンスの基本となる観察方法等の習得、救急対応の基礎知識・技術の修得を目的とした実習を開始しました。

本実習は、病院前での救護活動に始まり、病院内における医療活動や自然災害・人為災害などの様々な災害現場を想定したシミュレーション実習を展開。各現場に応じた知識・技術の修得を早期からスタートし、救急医療対応の基礎とともに高レベルな医療活動を見据えた実

習を行っています。

実習では、個人の基本手技の習得と合わせてチーム医療展開のために小グループ編成で行っています。実習時には、ユニフォーム（医療用スクラブ）を着用し、聴診器やペンライトなど各個人で管理する医療用資器材も使用します。

また、人形を使った実習では実際の傷病者と同じように向き合い、礼を失する態度が認められた場合には評価対象外として今後の履修を認めないものとする方針をシラバスで示すなど、学生の意識向上にも力を注いでいます。

ほかの救急救命士養成校では、屋内実習室や救急車のカットモデルを使用するなど、比較的閉鎖的な環境下で実習を行うことが多いなか、本学では、最大の特徴であるスポーツ現場での実習を実施。救急医療のスペシャリストとして迅速に対応できるよう、各学部や部活動、サークル等の協力を得て、運動競技施設を使用しての実習を4年次に開始しています。実際の救急現場に即した活動ができるよう鋭意、関係部署との連携・調整を図りながら、実習品質の向上を常に図っています。

今後は、地域での医療連携や地域貢献も視野に実習を展開し、地域自治体や各医療機関の協力も得ながら、独自の実習スタイルの構築を追求しながら医療活動を通して地域貢献にも取り組んでまいります。

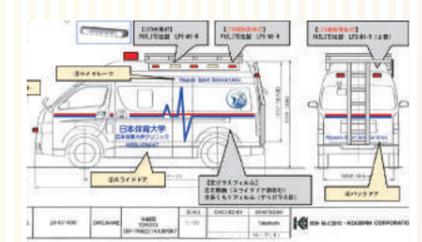


## ③ 日体大DMAT

DMATとは、Disaster Medical Assistance Teamの略であり、医師や看護師、救急救命士等の業務調整員で構成された災害現場で救急医療活動を展開する専門チームです。本学では、横浜マラソンや青葉区民マラソンなどの各種イベントでマスコギャザリングでの医療救護体制の構築と、その協力を開始しました。本学科には救急救命士として臨床経験豊富な教員が多数在籍しており、救急救命士国家資格の取得を目標にした教育を実施しています。そして卒業後は災害現場において医療の第一人者となるべく、教育体制の構築も行っています。

また、スポーツや各種イベントにおける救護協力だけでなく、2016年に発生した熊本地震、本年7月に発生した西日本豪雨災害の被災地へ教職員とともに学生も救護ボランティアとして救護活動に参加。被災地での医療活動やニーズの把握、住民への様々な協力を経験し、被災者に寄り添う対応ができる医療従事者を育てる教育にも取り組んでいます。

本年度からは、災害救護体制をさらに強固なものとし、学内における救急医療体制の構築を図るだけでなく、傷病者の予後の向上も図ることを目的に、傷病者搬送能力を有した専用車両を配置することにしました。今後は、救護指揮・救護拠点機能を有した専用車両の配置



も段階的に展開し、平時での救急医療に貢献する高度教育機関としてステップアップを図っていききたいと思います。

## 設置校とともに広がり続ける日體精神

### 日本体育大学荏原高等学校

「学びて之を活かす」すなわち  
高い人間力で社会に貢献する

basic information

建学の精神・校訓	知・徳・体 求めて学び・耐えて鍛え・学びて 之を活かす	所在地	〒146-8588 東京都大田区池上8-26-1 TEL 03-3759-3291
設立	1904(明治37)年	URL	http://www.nittai-ebara.jp
入学定員	普通科 320名 (総合コース 200名、体育コース 80名、文理コース 40名)		

### 日本体育大学柏高等学校

「健康と信用は最高の宝」という建学の精神を基に、  
「スポーツの盛んな進学校」を目指す

basic information

建学の精神・校訓	健康と信用は最高の宝	所在地	〒277-0008 千葉県柏市戸張944 TEL 04-7167-1301
設立	1960(昭和35)年	URL	https://www.k-nittai.ed.jp
入学定員	全日制普通科 360名 (アドバンスコース、進学コース、アスリートコース)		

### 日本体育大学桜華中学校 (旧 桜華女学院中学校)

心と体を鍛え、知性を磨く

basic information

建学の精神・校訓	健康・努力・敬愛	所在地	〒189-0024 東京都東村山市富士見町2-5-1 TEL 042-391-4133
設立	1994(平成6)年	URL	http://www.ohka.ed.jp
入学定員	40名		

### 日本体育大学桜華高等学校 (旧 日体桜華高等学校)

女性が本来もつ資質と能力を  
存分に伸ばす

basic information

建学の精神・校訓	健康・努力・敬愛	所在地	〒189-0024 東京都東村山市富士見町2-5-1 TEL 042-391-4133
設立	1958(昭和33)年	URL	http://www.ohka.ed.jp
入学定員	普通コース 240名		

### 浜松日体中学校

夢を叶え、輝く未来を切り拓く  
浜松日体の中高一貫教育

basic information

建学の精神・校訓	積志力行・清節篤行	所在地	〒431-3125 静岡県浜松市東区半田山三丁目30-1 TEL 053-434-0632
設立	2002(平成14)年	URL	http://www.h-nittai.ed.jp
入学定員	90名 (男女共学3クラス)		

### 浜松日体高等学校

最適な学びの環境で夢を叶える

basic information

建学の精神・校訓	積志力行・清節篤行	所在地	〒431-3125 静岡県浜松市東区半田山三丁目30-1 TEL 053-434-0632
設立	1962(昭和37)年	URL	http://www.h-nittai.ed.jp
入学定員	320名 (選抜コース(I類・II類) 約160名、文理コース 約70名、一貫コース(内部進学者) 約90名)		

### 日本体育大学附属高等支援学校

自然に恵まれた地の利を活用して  
心躍る体験を作り出し、豊かな人間性を育む

basic information

建学の精神・校訓	體育富強之基、正しく明るく仲良く	所在地	〒093-0045 北海道網走市大曲1-6-1 TEL 0152-67-9141
設立	2017(平成29)年	URL	http://s-nittai.ed.jp
入学定員数	全日制普通科 40名		

### 日体幼稚園

健康で自信を持って  
何事にも前向きに取り組む子どもへ

basic information

教育理念	健康第一主義の教育を通して 豊かな人間性を形成する	所在地	〒158-0081 東京都世田谷区深沢8-4-1 TEL 03-3701-4450
設立	1955(昭和30)年	URL	http://www.nittai-kindergarten.ed.jp
入園定員数	240名 (3歳児 80名、4歳児 80名、5歳児 80名)		

### 日本体育大学医療専門学校 (旧 日体柔整専門学校)

社会に奉仕できる医療人に

basic information

建学の精神	生命の尊厳を自覚し、人間として謙虚な心と 仁愛の心をもった有為な人材を多く輩出する。	所在地	〒158-0097 東京都世田谷区用賀2-2-7 TEL 03-5717-6161
設立	1973(昭和48)年	URL	https://www.nittai-iryu.ac.jp/
入学定員	整復健康学科 30名、口腔健康学科 40名 (男女共学3年制)		